第３次柳井市環境基本計画（骨子案）

１　計画概要

○計画策定の目的

令和８年度を目標年度とする「第２次柳井市環境基本計画」（現行計画）の総括を行うとともに、近年の環境情勢を踏まえた環境施策の総合的かつ計画的な推進を図ることを目的としています。

○計画の位置づけ

・「柳井市環境基本条例」に規定する計画です。
・「柳井市総合計画」を上位計画とします。
・その他、本市諸計画との整合を図るものとします。
・「地方公共団体地球温暖化実行計画（区域施策編）」を内包します。

○計画期間

令和９年度～令和１８年度（１０年間）

○対象区域

柳井市全域

○対象分野

分　野	項　　目
自然環境	生物多様性、有害鳥獣、外来生物、森林、農地、水辺など
生活環境	大気環境、水環境、土壌・地盤環境、騒音・振動、悪臭・化学物質、美化、景観、歴史的文化遺産、公園・緑地など
脱炭素	地球温暖化、省・創・蓄エネルギーなど
資源循環	廃棄物・水循環など

○関連計画等

計画	関連分野	所管課
第２次柳井市総合計画	全分野	政策企画課
第２次柳井市環境基本計画	全分野	市民生活課
柳井市役所エコ・オフィスプラン（第４期）	地球温暖化対策、資源循環	
柳井市ゼロカーボンシティ宣言	地球温暖化対策、資源循環、協働	
柳井市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	資源循環、地球温暖化対策	
柳井市一般廃棄物（生活排水）処理基本計画	公害（水質）、資源循環、衛生	
柳井市分別収集計画	資源循環、地球温暖化対策	
柳井市災害廃棄物処理計画	資源循環、公害・生活環境保全、防災との連携	
柳井市景観計画	生物多様性（里地景観等）、環境	建築住宅課

	保全、まちなみ・景観	
柳井市都市計画マスタープラン	生物多様性、景観、公害（水環境）、温暖化（コンパクト化）	都市計画課
柳井市立地適正化計画	地球温暖化対策、景観、土地利用、公害予防	
柳井市都市公園施設長寿命化計画	緑化・公園、景観、防災、環境学習の場づくり	
柳井市地域公共交通計画	地球温暖化対策、環境配慮型交通、協働	商工観光課
柳井市農業振興地域整備計画	生物多様性、景観、里地里山保全	農林水産課

2　策定スケジュール

項　　目	令和８年						令和９年		
	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
現行計画の進捗状況評価及び総括	→								
データや環境情勢の収集整理・分析と課題の整理	→								
計画骨子作成	→								
基本的施策の提案		→	→						
地球温暖化対策実行計画（区域施策編）	→	→	→						
計画進行管理方策の提案			→						
計画書案の作成		→（素案）	→	→（修正）	→	→	→（修正）	→（修正）	→
計画完成版・概要版作成（デザイン）								→	→
柳井市環境審議会	●（諮問）			●				●（答申）	
柳井市環境推進本部		●			●			●	
柳井市議会			●			●			●
パブリック・コメント						→	→		
公表									●

3　計画内容

（1）目指す環境像

①参考理念

○柳井市総合計画（まちの将来像案）

【将来都市像】

市民の力で未来をつくる　地域の力で支えあう　安心と幸せのまち柳井

【基本理念】

（1）学びや挑戦から生まれる人とまちが進化するまちづくり

（2）出会いとつながりから生まれる心豊かなまちづくり

（3）先を読み戦略的に変わることから生まれる持続するまちづくり

【目指すまちの姿】

4　循環型社会

○ごみの減量や再資源化、安定的なごみ処理を通じて環境負荷の低減を図ります。

○循環型社会の実現を目指し、市民・事業者・行政が相互に連携し取組を推進します。

5　景観・環境保全

○市民・事業者・行政が連携し、本市らしい良好な景観の保全、形成、活用を図るとともに歴史や自然と調和した生活空間の創出に努めます。

○地球温暖化防止に向け、市民・事業者・行政が連携し、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入等の取組を推進します。

○自然とのふれあいや学びを通して環境問題への関心を高め、市民一人ひとりの主体的な行動変容につなげることにより、良好な環境を将来世代に引き継ぐことを目指します。

○まちの快適な生活環境を維持するため、水質、大気等の良好な環境の保全に取り組むとともに、地域における美化活動を推進します。

○柳井市環境基本条例（基本理念）

第3条　環境の保全及び創造は、すべての市民が健康で文化的な生活を営むことができる快適な環境及び人と自然が共生する環境を確保し、これを将来の世代に継承していくことを目的として行われなければならない。

2　環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民のそれぞれの責務に応じた役割分担の下に行われなければならない。

3　環境の保全及び創造は、市、事業者及び市民のすべての事業活動及び日常生活における環境への十分な配慮その他の自主的かつ積極的な行動の下、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を目指して行わなければならない。

4　地球環境保全は、市、事業者及び市民が自らの課題であることを認識して、それぞれの事業活動及び日常生活において積極的に推進されなければならない。

②目指す環境像

※第2次「美しい景観・自然と調和し、環境にやさしいまちづくり

山川草木あるべき姿を大切に～未来に向かって深呼吸～」 第１次「美しい自然、環境と調和するまち柳井 山川草木あるべき姿を大切に～未来に向かって深呼吸～」

（２）基本方針

①現行計画の視点

第２次計画		第３次計画
（基本的な方向）	（環境施策）	（基本方針）
現在ある自然環境を大切にするために	自然環境の保全	基本方針Ⅰ
	水域の水質保全	基本方針Ⅱ
	環境美化	基本方針Ⅰ
未来に向かうために	自然特性を生かした農業の推進	
	新ｴﾈﾙｷﾞｰ、再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰの導入促進	基本方針Ⅲ
	地球環境の保全	
現在ある自然環境を大切にして未来に向かうために	資源循環・廃棄物対策	基本方針Ⅳ
	環境教育・環境学習の推進	基本方針Ⅴ
	民間団体の支援・育成	

②第３次基本方針（案）

Ⅰ　自然共生と景観

Ⅱ　快適な生活環境の保全

Ⅲ　地球温暖化対策・地域脱炭素の推進

Ⅳ　資源循環と循環型社会の形成

Ⅴ　環境教育・協働・地域基盤の強化

③計画体系図（イメージ）

（別紙）

④施策検討の留意点

分野	留意点
環境全般	○持続可能な開発目標（SDGs）の視点 ○国・県の計画との整合
自然環境	○自然再興（ネイチャーポジティブ）の視点
脱炭素社会	○温室効果ガス排出量実質ゼロ（カーボンニュートラル）の視点
循環型社会	○循環経済（サーキュラーエコノミー）の視点

※別添資料参照

4　章立て（イメージ）

（別紙参照）

第三次環境基本計画 体系図　（一般イメージ）

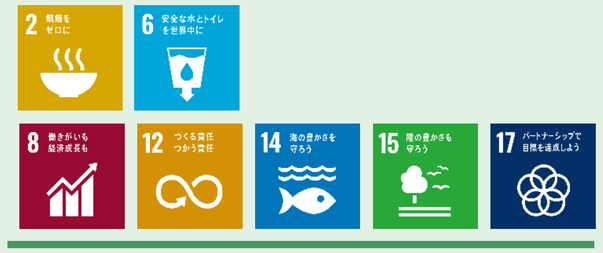
目指す環境像

～美しい景観・自然と調和し、環境にやさしいまちづくり～

「瀬戸内海・里山・歴史的まちなみなどの地域資源」 × 「市民・事業者・行政の協働」 × 「脱炭素・循環・快適な生活環境」

基本方針I 自然共生・景観

- 瀬戸内海・里山・農地・河川・海岸の保全
- 身近な生きもの・重要種・外来種対策
- 歴史的まちなみ・景観と調和した環境づくり



基本方針II 生活環境

- 水・大気・生活環境の保全
- 河川・海域の水質保全
- 生活排水対策、下水道・浄化槽整備
- 公害、騒音・悪臭対策



基本方針III 脱炭素・適応

- ゼロカーボンシティ宣言を踏まえた市域対策
- 家庭・事業所の省エネ・再エネ促進
- エコ・オフィスプランと気候変動適応の推進



基本方針IV 資源循環

- ごみ発生抑制と3R・分別徹底
- 食品ロス・プラスチック削減
- 一般廃棄物処理基本計画と連動した資源化



基本方針V 学び・協働

- 環境教育・環境学習の推進
- 環境パートナーシップ（協働）の推進
- 情報発信・見える化・PDCA



横断的リーディングプロジェクト＋既存計画・取組例

水辺・里山・海辺保全
河川・海域の環境保全 / 生物多様性・景観保全

良好な生活環境の保全
大気・水質・生活環境保全 / 公害防止 / 美化・緑化・公園

地域脱炭素推進プロジェクト
住宅・公共施設の省エネ再エネ化 / 次世代自動住車・公共交通転換 / 主要事業所との連携強化

資源循環・ごみ対策プロジェクト
ごみ減量・資源化 / プラスチック削減 / 海岸・地域美化活動

環境学び・協働創造プロジェクト
学校・地域・事業者連携 / 環境学習機会の拡充 / 情報発信・参加促進

その他の横断的重点リーディングプロジェクト　等

第３次	第２次
はじめに ・計画策定にあたって ・市長あいさつ ・計画策定の趣旨	
第１章　計画の基本的事項 １　計画策定の背景 ２　計画の位置付け ３　計画の期間 ４　計画の対象範囲 ５　計画の対象主体 ６　関連計画との関係 ７　計画の進め方（PDCA）	第１章　基本的事項 １　計画策定の背景 ２　環境基本計画の位置づけ ３　環境基本計画の役割 ４　計画の目標年次と見直し ５　計画の対象地域
第２章　柳井市の環境の現状と地域特性 １　柳井市の地域特性 ２　自然環境の現状 ３　生活環境の現状 ４　資源循環の現状 ５　地球温暖化対策の現状 ６　環境教育・協働の現状	第２章　柳井市の環境の現状と課題 第１節　自然環境（気象、地象・水象、動植物の生息・生育状況） 第２節　社会環境（人口、産業、土地利用） 第３節　生活環境（大気、水質、騒音・振動・悪臭、廃棄物、都市環境）
第３章　第二次環境基本計画の総括と今後の課題 １　第二次計画の基本目標と施策の振り返り ２　分野別の進捗状況 ３　第二次計画で十分に扱えなかった課題 ４　第三次計画に引き継ぐべき課題	

第４章　目指す環境像と施策体系 １　計画策定の基本姿勢 ２　目指す環境像 ３　基本方針 ４　体系図 ５　SDGs との関係 第５章　基本方針Ⅰ　自然共生と景観 １　自然環境（瀬戸内海・里山・農地・河川・海岸）の保全 ２　生物多様性の保全 ３　景観・歴史文化資源の保全 第６章　快適な生活環境の保全 １　水・大気・騒音・振動・悪臭の監視 ２　生活排水対策 第７章　基本方針Ⅱ　地球温暖化対策・地域脱炭素の推進 １　地球温暖化対策の基本的な考え方 ２　温室効果ガス排出量の現状と課題 ３　排出削減目標	第３章　柳井市の望ましい環境像 第４章　環境施策の体系 第１節　基本的な方向 第２節　環境施策の体系 第５章　施策の展開 第１節　現在ある自然環境を大切にするために １　自然環境の保全 ２　水域の水質保全 ３　環境美化 第２節　未来に向かうために １　自然特性を生かした農業の推進 ２　新エネルギー、再生可能エネルギーの導入促進 ３　地球環境の保全 第３節　現在ある自然環境を大切にして、未来に向かうために １　資源循環・廃棄物対策 ２　環境教育・環境学習の推進 ３　民間団体の支援・育成

4　施策の展開 （1）脱炭素型ライフスタイル・事業活動への転換 （2）再生可能エネルギーの導入拡大 （3）交通・移動の脱炭素化 （4）吸収源対策 （5）気候変動適応策 第８章　基本方針Ⅲ 資源循環と循環型社会の形成 1　ごみ発生抑制と 3R の推進 2　食品ロス・プラスチック対策 3　適正処理と地域環境の保全 第９章　基本方針Ⅳ 環境教育・協働・地域基盤の強化 1　環境教育・環境学習の充実 2　市民・事業者・団体との協働 3　情報発信と参加促進 第 10 章　重点プロジェクト 1　地域脱炭素推進プロジェクト 2　水辺・里山・海辺保全プロジェクト 3　資源循環・海洋ごみ対策プロジェクト 4　環境学び・協働創造プロジェクト 第 11 章　計画の推進 1　推進体制 2　進行管理 3　国・県・周辺自治体との連携 4　計画の見直し	第６章　リーディングプロジェクト 1　生活排水対策の推進 2　地球温暖化対策の推進 3　ごみの減量と適正処理・リサイクルの推進 4　環境教育・環境学習の推進 5　環境パートナーシップ（協働）の推進 第７章　計画の推進 第１節　計画の推進体制 第２節　計画の進行管理

資料編 １　柳井市の環境関連データ ２　指標一覧 ３　用語解説 ４　計画策定経過 ５　審議会委員名簿 ６　市民・事業者アンケート結果 ７　参考資料 ８　（必要に応じて）市役所等の温室効果ガス排出量削減に向けた取組	第８章　環境配慮指針 第１節　各分野別行動指針 １　各種事業共通の行動指針 ２　各種事業ごとの行動指針 第２節　各地域別行動指針 １　柳井地域 ２　柳東地域 ３　柳北地域 ４　日積・伊陸地域 ５　余田・新庄地域 ６　阿月・伊保庄地域 ７　平郡地域 ８　大畠地域 資料編 １　計画の策定体制 ２　市民意識調査（市民アンケート） ３　柳井市環境基本条例 ４　関係法令（国） ５　環境基準